

千葉県議会議員〈我孫子市選出・無所属〉会派「千翔会」幹事長

水野ゆうき

ゆう
Can Change!

2017年

県議会・活動報告 vol.22

水野ゆうきは
県政・議会・議員の見える化を
推奨しています。

ブログ <http://ameblo.jp/yuukimizuno/> Facebook 水野友貴 twitter @yuukitten



平成 29 年度予算を決める重要な2月定例千葉県議会において一般質問及び予算委員会に登壇。行政改革と地元・我孫子市、千葉県の発展の視点から質疑をし、着実に前に進めています。

手賀沼終末処理場に保管されている下水汚泥焼却灰の指定廃棄物、平成29年度内に建屋内への全面移設を実現！

【指定廃棄物問題】

①指定廃棄物の長期管理施設問題

現在、千葉県内では9市が東京電力福島第1原発事故で発生した指定廃棄物を合計 3706.5t 保管しています。

環境省は最終的な長期管理施設の詳細調査候補地として千葉市中央区の東京電力千葉火力発電所を提示したものの、千葉市は依然として受け入れを拒否。膠着状態が続く中で、昨年11月には指定廃棄物を保管している松戸、柏、流山、我孫子、印西の5市の市長らが環境省を訪れ長期管理施設の一刻も早い確保などを要望。

茨城県や群馬県において環境省による分散保管の採用が続く中、千葉県内において指定廃棄物を保管している自治体は今後の行方を非常に危惧しています。水野ゆうきから千葉県の県内1か所集約の方針は変更しないのか改めて確認。千葉県からは群馬県の指定廃棄物は放射性濃度も低く、量も少ないが、千葉県は指定廃棄物の濃度も高く、量も多いために一か所保管に変わりはなく、との答弁を得ました。

②手賀沼終末処理場に保管されている下水汚泥焼却灰の移設問題

質問時、手賀沼終末処理場に保管されている下水汚泥焼却灰の指定廃棄物は 542 トンで、このうち仮設倉庫に 370 トン、建屋内に 172 トンが保管されていました。我孫子市等7市で構成される手賀沼流域下水道事業連絡協議会も下水汚泥焼却灰で仮設倉庫に保管されている 370 トンを安全面の観点から建屋内に移設することを要望し、あらゆる形で千葉県に働きかけてきました。

結果、千葉県からは「平成 28 年度は仮設倉庫に保管している 370 トンの約半数の 190 トンを建屋内に移設し、残り 180 トンも平成 29 年度にすみやかに移設する」と、保管自治体に寄り添った具体的答弁を得られることができました。



【水野ゆうきの一般質問項目】

1. 男女共同参画について
2. 女性特有のがん対策について
3. 里親制度と特別養子縁組あっせん法について
4. 県有施設のあり方について
 - 千葉県と我孫子市の共有施設「けやきプラザ」
5. 指定廃棄物について
 - 指定廃棄物の千葉県における長期管理施設設置
 - 手賀沼終末処理場に保管されている下水汚泥焼却灰の指定廃棄物
6. インターネット被害防止対策について
 - 青少年ネット被害防止対策（ネットパトロール）
 - サイバー犯罪

県と市の複合施設・けやきプラザのあり方再考へ —千葉県、我孫子市と協議へ！—

千葉県は千葉県行政改革計画「公の施設の見直し方針」にて99の県公施設において新たな見直し方針を決定。この見直し方針の対象施設に我孫子市にある千葉県福祉ふれあいプラザ（千葉県と我孫子市の共有・複合施設であるけやきプラザ（※平成 18 年建設）の中に福祉ふれあいプラザが入っており県と市それぞれの役割分担のもとに整備）も含まれました。

福祉ふれあいプラザについて、見直し方針では「施設の利用状況を踏まえ、高齢者の介護施策における当施設の位置づけや県・市の役割分担について整理し、現指定管理期間中（※平成30年度まで）に施設の活用方法の見直しを含めた今後の施設のあり方について検討する」とされました。

千葉県福祉ふれあいプラザは千葉県の唯一の介護予防の拠点としての役割を担っていますが、その利用者数や利用実態には課題があります。この建物に関する県と我孫子市の契約内容を調査したところ、維持管理等の費用負担に関しては「けやきプラザ施設の維持管理及び運営に関する協定書」を千葉県と我孫子市で締結し、占有面積に応じて県と市で分担している一方で「土地の使用」に関しては我孫子市民においても利益が享受できるという観点から、この土地は無償で契約（土地使用貸借契約書）していました。

つまり、土地は我孫子市のものにも関わらず千葉県は地代を支払わず

無償でいい、という契約です。当然ながら土地を無償で契約することに関して当時、我孫子市議会から疑問視する声があったにも関わらず、千葉県と我孫子市は土地を無償で契約。（※この施設の検討・契約・建設当時の千葉県知事及び我孫子市長、我孫子市選出県議は現職ではありません。）

この土地使用貸借契約書の第7条には「貸付期間の初日から10年を経過したときは、この契約内容について協議することができるものとする」と明記されていることから、10年経過した現在、今年1月に我孫子市から千葉県に、けやきプラザ用地の契約形態を使用貸借契約から賃貸借契約への変更に関する協議の実施について（地代に関して協議に入りたいという内容）の要望書を提出。水野ゆうきからも施設の有効活用法や地代について我孫子市との協議は必須であることを指摘。

千葉県からは今後のあり方は我孫子市の意見も十分に聞きながら検討していくとともに、地代についても我孫子市と話し合いを始めるとの明確な答弁が得られました。

人口減少社会の進展に伴い、ハコモノを見直すことは行政改革の視点からも当然のことです。現存する施設を時代に合わせていかに県民の皆さんに有効活用してもらうか、千葉県と我孫子市が県民目線・感覚で協議していく必要があります。

水野ゆうきの一般質問における他の詳細はこちらをご覧ください。

→ゆう Can Change! vol.21 http://mizunoyuuki.com/official_site/wp/wp-content/uploads/2017/03/vol21.pdf

QR code →



予算委員会で医療・教育費、JR、国道・県道バリアフリー化等、徹底討論！

平成 29 年度の骨格予算を決定する予算委員会の委員に選出され、合計 25 問の質問を行いました。

【水野ゆうきの予算委員会質問項目】

- ①子ども医療費助成：通院助成の対象年齢と補助率の引き上げ
- ②児童相談所：体制強化と専門性向上に向けて
- ③スクールソーシャルワーカー：増員に向けて
- ④ICT 教育：環境整備の充実
- ⑤国道 356 号、県道船橋我孫子線沿いのバリアフリー化推進
- ⑥信号機の設置及び横断歩道の白線等の道路標示の補修について
- ⑦常磐線・成田線から上野東京ライン
：乗り入れ本数拡大、特別快速我孫子駅停車に向けて

【教育行政】

～ICT 教育：環境整備の充実～

2020 年度から実施される次期学習指導要領において小学校でのプログラミング教育が必修化されることから、水野ゆうきは ICT 教育の環境整備の充実を進めています。千葉県では情報活用能力の向上に向け、全ての県立学校から安全にインターネットに接続できるネットワークを整備し、教育用コンピュータや周辺機器を設置。県立中学校においては、今年度、無線環境を整備して、新たにタブレット型端末を導入。我孫子市では小中一貫校を中心にタブレット型端末の整備を強化しており、今後市内で差が出ないように全小中学校において活用を進めていきたいと思っておりますが、財政問題が課題です。教育に関しては地域間格差が生じないよう ICT を有効活用した教育活動を推進していくためにタブレット型端末の整備やソフト購入費補助など環境整備における県から市町村への財政支援を働きかけています。

～スクールソーシャルワーカー：増員に向けて～

スクールソーシャルワーカーは子どもや家庭を包括的にケアする手立てをコーディネートする役割を担います。核家族化や経済格差などによって家庭環境が著しく変化をしたことで、子供たちを取り巻く環境は厳しくなっており、まだまだ子供たちに支援が届かない状況下でスクールソーシャルワーカーの役割が近年注目されており、関東各都県でも配置を増員しています。しかし、千葉県は人口比からしても圧倒的にスクールソーシャルワーカーの人数が少ないことを指摘。

【平成28年度のスクールソーシャルワーカーの配置人数】

東京都	埼玉県	神奈川県	茨城県	千葉県
155 人	81 人	50 人	11 人	8 人

8 名で千葉県内全域の小学校、中学校、高等学校に対応するということは一人当たり 140 校に対応する計算になるわけです。水野ゆうきは更なる増員に向けて働きかけていきます。

↑
平成29年度から
4人増員して12名に!!

【道路行政】

～国道 356 号、県道船橋我孫子線沿いのバリアフリー化、前進!!～

国道 356 号沿いは特に子供たちの通学路ともなっていて、障がい者やベビーカー、車椅子を利用される市民にとっては喫緊の課題で、電柱の移設や点字ブロック設置を県議当選以降進めています。昨年、視覚に障害をお持ちの方々からのご要望を受け、東邦病院、名戸ヶ谷病院、我孫子市役所につながる県道船橋我孫子線に誘導用ブロック（点字ブロック）の設置を要望していました。予算委員会では**国道 356 号の我孫子市内については、歩道が狭い区間の段差解消や通行に支障となっている電柱の移設（電柱は356号沿い寿地区の歩道の真ん中）を進めるとともに、県道船橋我孫子線の我孫子市寿2丁目地先については、平成28年度から約300メートル区間について誘導用ブロックの設置を進めており、平成29年度に完了する予定**という答弁を得られ、着実に進めています！

～信号機の設置及び横断歩道の白線等の道路標示の補修予算確保へ～

平成 27 年の千葉県における交通事故者数は全国ワースト 2 位という状況です。更に千葉県内の交差点及びその付近における交通事故の割合は平成 27 年で約 56% と高い比重を占めています。車の交通量が多く、高齢化も進む中、市民が安全で安心して暮らすことができる交通社会を確保するためには、信号機の設置が重要です。

交通量や事故発生状況、道路形状などを踏まえて必要箇所には新設するよう対応を要望。また白線が消えかかっている横断歩道や停止線等の補修要望を行い、寿地区の 356 号線、子どもたちの通学路となっている子の神大黒天に通じる横断歩道の補修が完了しました。

※写真参照→

千葉県内及び我孫子市における 過去3年間の交通事故の発生件数及び死者数 （千葉県内）

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
発生件数	19,705 件	18,650 件	18,022 件
死者数	182 人	180 人	185 人

（我孫子市内）

	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
発生件数	343 件	341 件	294 件
死者数	0 人	2 人	3 人



【常磐線・成田線から上野東京ライン乗り入れ本数拡大、特別快速我孫子駅停車に向けて】

現在の常磐線、成田線から上野東京ラインへの乗り入れ状況は平日で 1 日当たり 61 本で、このうち成田線からの乗り入れは 2 本となっています。通勤時間帯における乗り入れ本数は午前 8 時台の東京駅着 5 本。千葉県においても人口が非常に多い松戸市民、柏市民も都内へ通う為に使う電車であり、利用者から乗り入れ本数の拡大を求める声が高まっています。

【一日の平均乗車数】

松戸駅：10 万人超
柏駅：約 12 万 3 千人程度
我孫子駅：3 万人超

また、朝の 5 本のうちの 2 本が成田線の乗り入れに入っていますが、成田線の増発は 20 年以上実現されておらず、成田線沿線住民にとって列車の増発など、成田線の利便性向上が沿線自治体の最重要課題です。常磐線、成田線からの乗り入れ本数の拡大のために県としても力を入れるべきと強調し、千葉県の JR への積極的な働きかけを要望し、県からも要望活動を行う旨の答弁を得ました。また、常磐線では 10 時台から 15 時台の各時間帯に上下線 1 本ずつの特別快速が運行していますが、品川と土浦を結ぶこの路線は、千葉県内では柏駅と松戸駅に停車していますが、我孫子駅は通過しています。

我孫子駅は成田線との結節点でもあり、この特別快速についてはぜひ我孫子駅にも停車をするよう千葉県としてもあらゆる形で働きかけをするよう要望しました。

その他の質問は「ゆう Can Change! vol.21」をご覧ください。→



水野ゆうきプロフィール
千葉県議会所属団体

役職 千葉県議会議員（会派「千翔会」幹事長、総務防災常任委員会委員）

◎千葉県立我孫子・湖北特別支援学校後援会顧問、手賀沼水環境保全協議会顧問、一般国道 356 号整備促進期成同盟顧問、松戸健康福祉センター運営協議会委員 等

経歴 1983 年 2 月 19 日生の 33 歳。我孫子市生まれ・育ち・在住。我孫子市立第四小学校入学、米国ロサンゼルス現地校編入、ロサンゼルスインターナショナルスクール編入、帰国後は茨城県私立茗溪学園中学校編入、同校高校卒、津田塾大学学芸学部国際関係学科卒。東証一部上場物流社入社（秘書部秘書課秘書グループにて 6 名の役員秘書担当）。民放テレビ局勤務（報道局経済部所属・BS フジ LIVE『PRIME NEWS』担当）。2011 年我孫子市議会議員選挙 3 位当選。市議時代に我孫子市の PR、情報行政、ネット・メディア戦略に注力し、我孫子市の魅力発信に寄与。2015 年千葉県議会議員選挙当選。

『我孫子ゆうき部』（水野ゆうき後援会）部員大募集！

水野ゆうきの政治活動・地域活動を支援して下さる事務員・部員を募集しております。詳しくは水野ゆうきホームページ（<http://www.mizunoyuuki.com/>）、水野ゆうき Facebook までお気軽にご連絡ください。担当スタッフがご連絡させていただきます。